平湯　四ツ岳スキー
日程：2009 年 3 月 14 日(土)～15 日（日）
メンバー：L 白土、菊地、志満、鈴木(記)

3 月 15 日
タイム　16:10 平湯キャンプ場駐車場～8:00 大滝川渡渉点上～10:00 2200m付近～11:50 四ツ岳頂上～12：20 同出発 13:25～1840m付近～14：40 平湯駐車場

13 日の夜に厚木を出発し本来であれば 14 日に四ツ岳に登っている筈であったが 14 日は 6 時の時点で雨、雪であれば行動するが雨ではどうにもならずそのままテント（沢渡の駐車場）で寝る。9 時に目が覚めると湿った雪に変わっている。であるが何故か皆の行動が鈍く輝山に行く事も可能であったが温泉行きに変更となる･･･終日ひらゆの森の温泉でのんびり、一部の方は天気図の勉強。夜は平湯キャンプ場の駐車場にテント。食事は豪華な焼肉で次から次に多様な肉が出て来た。

15 日は晴れ、早朝 4 時に起きなんと<u>モツ味噌煮込み</u>の食事！6 時に出発する時は他に関西からのも含めて 3 パーテーも来て総勢 15 人の多人数となる。ラッセル軽減を狙ったわけではないが最後尾となる・・・途中で２パーテーを抜いたがトップのパーテーは早くて抜けず。途中渡渉が有るが幸い木の枝が川を跨いで倒れておりその上に雪が積もり水に入らずとも渡れる。雪は 20～30㎝ 程積もっておりその下は凍った雪（氷）、トレースが有る為楽に登れ、白土、菊地さんは物足らなそう。森林限界を超えるあたりは目の前に岩峰が見え出し青い空、白い雪、雪を被った木々のコントラストが美しい、風はあるものの左程では無い。頂上直下はハーフパイプ状になっており風は弱くなるが雪はほとんどアイスバーン。頂上の景色は素晴らしい、乗鞍、焼岳、穂高連峰、岳沢、槍が見える。滑降に移る、しばらくアイスバーンが続くがハーフパイプ状態なので危険は無く楽に滑れる。その後はパウダーとなり大好きな急斜面。先行パーテーは他を滑ったらしくトレースが無い。

大滝川を渡る

山頂直下を滑る

皆が歓声を挙げて滑る、志満さんも満面の笑みを浮かべて綺麗に滑る。「これだから少しぐらい辛い事があっても山スキーは止められない」が全員の気持ち。全員の滑走動画を撮る、見るのが楽しみ！樹林帯に入ってからはコースを変え登りより東に入り滑る、GPS のお陰で現在位置がわかり心配なく滑れる。先程迄の無木立の大斜面も楽しいが樹林帯の中のツリーランも楽しい。

私は定年後山スキーを始めたが皆さんはまだ若い、こんな楽しみをこれから先何年も味わえるのかと思うと何か不合理を感じてしまう。つくづく若さが羨ましい。

四ツ岳は気に入った、今迄滑って黒姫山、焼岳がお気に入りであったが四ツ岳も加える。その理由、パウダーである、頂上付近は岩峰であり格好いい山である、標高が2745mと高く登り口よりの標高差約 1500m程あり長く滑れる、斜面が一定して急、ルートが分かりやすい等等。来年も今年行きそびれた猫岳、輝山に是非行きたい。

さがみ山友会の山行は楽しい。山スキーができ岩もでき、嫌な人はいないし、体の続く限り頑張ります。

以上

穂高連峰をバックに四ツ岳山頂直下を登る